

# 図書館だより



- 身近な春を探そう 植物の本あります！・・・・・・・・・・・・・・・・P1
- 長期延滞者への利用制限を実施します・・・・・・・・・・・・・・・・P2
- (湘南大庭市民図書館) “おひざのうえのおはなし会” 会場変更について・・・P2
- 湘南台中学校美術部が図書館マスタ・本の紹介カードを制作してくれました！！P3
- 館長コラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
- 内閣総理大臣賞受賞おめでとうございます！！・・・・・・・・・・・・・・・・P4



ふじさわ

## 春が来た 春が来た どこに来た ♪

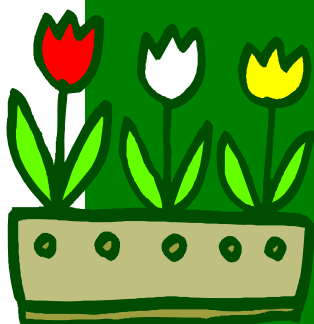
待ちに待った春がやってきました。

図書館のカウンターには、よく植物についてのお尋ねがあります。「入り口の所の、赤い実のなる木は何の木？」「この花の名前は？」…。ご存じですか？ 図書館には、たくさんの植物の本があるんですよ。

身近な花や草木に触れて、春を楽しみましょう！



# 身近な春を探そう 植物の本あります！



### ♪♪♪♪♪ こんな本はいかが？ ♪♪♪♪♪

書名	著者・発行所
『藤沢の自然』	藤沢市役所
『街路樹ブック』	藤沢市役所
『江の島大好き江の島の植物 季節の花』	坪倉 雄 著 (株)さんこうどう出版部
『身近な草・きのこの語らい』	藤沢市教育文化センター
『かながわの山に咲く花』	(株)銀の鈴社
『写真でみる神奈川の植物』	神奈川県立生命の星・地球博物館



【市民図書館】 総合市民図書館 (Tel.43-1111) 南市民図書館 (Tel.27-1044) 辻堂市民図書館 (Tel.35-0028)  
湘南大庭市民図書館 (Tel.86-1666)

【市民図書室】 長後 (Tel.43-7655) 明治 (Tel.35-7095) 辻堂 (Tel.35-7076) 村岡 (Tel.28-6939)  
片瀬 (Tel.28-6935) 遠藤 (Tel.88-6235) 六会 (Tel.83-4686) 善行 (Tel.83-4687)  
藤沢 (Tel.28-6895) 鵜沼 (Tel.35-7096) 御所見 (Tel.48-4675)

図書館のホームページ <http://www.lib.city.fujisawa.kanagawa.jp/>



# 長期延滞者への利用制限を実施します

藤沢市図書館は、長期間資料を返却しない方に対し、  
2012年（平成24年）3月21日（水）から利用制限を実施いたします。

## ○利用制限の対象となる方

図書館カードで資料の貸出を受け、返却期限日を30日過ぎてても返却しない方

## ○利用制限の対象となる資料

すべての貸出対象資料（図書、雑誌、CD、DVD、ビデオ等）

## ○利用制限の内容

### ①貸出停止・・・新規の貸出は停止します。

※利用制限となる前に予約・リクエストした資料も、利用制限中は貸出できません。

※複数ある場合は、該当となるすべての未返却資料が返却されなければ、貸出はできません。

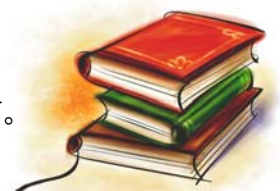
### ②予約サービスの停止・・・新規の予約・リクエストはできません。

※取置期間の延長や受取館の変更もできません。

- ・返却の遅れている方には、図書館から資料の返却についてご連絡します。利用制限の実施についても、あわせて事前に通知いたします。
- ・利用制限になったことは、窓口で貸出・予約申請があった時にお伝えします。
- ・利用制限中の方が、藤沢市ホームページや館内OPAC（資料検索機）で貸出状況を確認したり予約しようとする、利用制限中であることが画面に表示されます。

## ○利用制限を解除するには

該当するすべての未返却資料を返却処理した時点で、利用制限が解除されます。



## 湘南大庭市民図書館

### 参加しやすくなった“おひざのうえのおはなし会”

### ただいま絵本コーナーで開催しています!!

毎回、たくさんの親子に参加していただいている“おひざのうえのおはなし会”（第2・第4水曜日10:30～）は、昨秋から会場をおはなしの部屋からオープンスペースの絵本コーナーへ移して開催しています。

会場の絨毯コーナーへの間口が広くなり出入りがしやすくなったこと、また時間に遅れてもどこからでも参加できること、そして何より絵本に囲まれてのおはなし会ですので終わった後も自然に絵本へとつながっていきます。

おひざのうえのおはなし会の時間は、周囲の他の利用者のみなさまのご理解を得ながら、今後も多くの親子のためにみんなであたたかく見守りたいと思います。





# 湘南台中学校美術部が 図書館マナーポスター・本の紹介カードを制作してくれました！！

湘南台中学校では、「地域に愛される学校」をめざして、地域活動へのボランティア参加、イベント・清掃への協力参加等、中学生が地域で役立つ実践的活動に取り組んでいます。

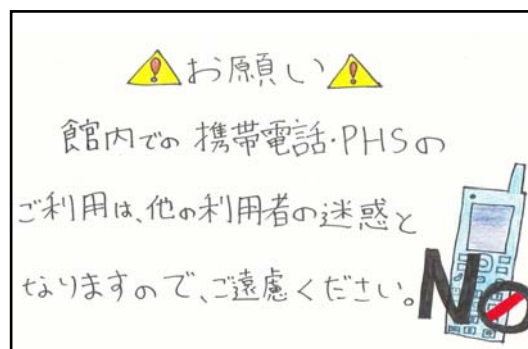
総合市民図書館は湘南台中学校に隣接しており、ぜひ、相互に協力して取り組みを進めようと話し合い、今回の図書館マナーポスター・図書館の本紹介カード制作にいたしました。総合市民図書館での展示の様子をお知らせいたします。



図書館の本紹介カードを本とともに展示しました(1階ヤングアダルトコーナー)  
\*1/5~2/7まで展示しました



マナーポスターの展示の様子(1階ヤングアダルトコーナー)  
\*マナーポスターは、1階ヤングアダルトコーナー・地下1階子ども図書館に常時掲示しています



美術部員制作のポスター一例

## 館長コラム「自慢」

私は昭和49年、図書館に新採用で配属され、この3月で定年を迎えます。長い間の利用者の皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。昔の図書館は老朽化した中央図書館が1館あるだけでした。当時の市長は「藤沢の図書館を日本一にしたい」という夢を持ち、私たち図書館員はその夢を実現するために、いろいろな仕事に携わってきました。

私の仕事の中で、ひとつだけ自慢したいことがあります。図書館の督促状には次のような文面があります。「保護者の方へ…督促をしますと、何人かの子どもたちが図書館に姿をみせなくなってしまいます。返却のマナーをお教えるうえ、引き続き図書館に送り出してあげてください。本と子どもが図書館に戻ってくることが、図書館の願いです。」

役所の督促状としては異質な文面です。実はこの督促状を作ったのは若き日の私です。窓口で保護者の方から「遅れたのは悪かったけれど、この図書館を利用してよかった。」と言われたことがあります。細かな仕事のひとつひとつに心をこめるのが働く者の誇りです。

「神は細部に宿り給う」

これからは、たくさんのスタッフが心をこめて働いている藤沢市の図書館を一市民として見守りたいと思います。



総合市民図書館長 内藤 彰

# 内閣総理大臣賞受賞おめでとうございます!!

市内在住の都積萌（つづみ もえ）さんが、『土のコレクション』（栗田宏一著 フレーベル館）を読んで書いた読書感想文で、第57回青少年読書感想文コンクール内閣総理大臣賞（小学校中学年の部）に選ばれました。ここに、全文をご紹介します。



## 「土は、命をささえている」

わたしは、この夏すごい本に出会いました。夏休みの初めに図書館に行った時、三・四年生におすすめの本として、しょうかいされました。表紙を見た時、「わあ〜。何これ!!」とびっくりして思わずその本を手に取りました。わたしは、今まで土の色は、茶色やこげ茶や黄土色だけだと勝手に思いこんでいました。わたしと同じように思っている人がたくさんいると思います。わくわくしながらページをめくると、まるで絵の具で色をつけたのかとうたがう様なピンクやオレンジ、水色、白、黒、むらさき……など、おどろくほどたくさんのきれいな色の土が日本全国にあって、びっくりしっぱなしで、いつのまにか、む中でくり返し読んでいました。

それでわたしは、土を集めて本当に色のちがいがあるか、たしかめてみようと思ったのです。スコップとピニールぶくろを持って、土集めに出発です。大きな木の根元にある土は、かたい。道路にあった土は、サラサラ。牛舎の近くにあった土の山は、牛ふんがまざっているのか？黒っぽくてにおいがしました。同じ畑でも場所によって土の色がちがったり、いろんな発見がありました。集めた土をかわかしている間も少しずつ色が変わっていき、不思議でした。わたしが集めた土だけでもいろんなこせいがあって、土ってすごい。おもしろい。何で、こんなにも土の色がちがうのか。それは、うちゅうにそんざいする九十二種類の元そすべてが土の中には、入って

## 藤沢市立御所見小学校4年 都積 萌

いて場所によってふくまれているわり合が少しずつちがうからだそうです。

わたし達人間が百人いたら、みなちがうように、土だって百種類集めれば、百色になるのです。そう思ったら、集めた土がいろんな顔をしているみたいで「プツ」とふきだしそうになりました。土が地球上にできたのは、今からやく四億年前。人類が生まれるのはるか昔のことです。では、土がなかったらどうなるのでしょうか。土がなかったら米や野菜、くだものなど農作物を作ることはできません。牛やニワトリなどを育てることもできません。きれいな花や木、虫たちも土がなければ、生きていくことは、できません。あたり前のようにある土がないと、わたしたちが食べて生きていくことができないのです。

土は、わたしたちの命をかげでささえてくれる、えんごの下の力持ちだったんだと気づかされました。「土さん、ありがとう。わたしたちは、土のおかげで生きているんだね。」と感しゃの気持ちでいっぱいになりました。

今まで、足元にある土の事をこんなにもふかく考えることは、ありませんでした。土の事を調べれば調べるほど、不思議がいっぱいでおもしろいです。この本は、わたしに土のすばらしさを教えてくれました。いつか日本中の土を集めて土コレクションをふやすのがわたしのゆめです。

萌さんは、2011年7月25日（月）に総合市民図書館で行った「小学3・4年生のきみたちへ!! おすすめ本紹介します!!」という催しに参加し、そこで出会った本を読んで、その感動をすばらしい文章にされました。

このことは、図書館にとっても大変うれしいニュースでしたので、子ども図書館内にて、受賞についての記事や、萌さんが実際に行った自由研究について紹介する展示を行いました。